

# 常なる磐

つねなる いわ season II

令和3年11月12日(金)  
その3

## ◇ レジ袋の有料化 よもやまばなし

コンビニエンスストアをよく利用する自分も、レジ袋の有料化を機に、袋の購入を控えることが多くなった。

ところで、レジ袋の売上金であるが、てっきり運営会社の収入になっているかと思いきや、調べてみるとそうではなかった。

裏面にレジ袋の有料化にかかわるNHK発信資料(売上金の使途等)を掲載したので、現状を見極める参考にしていただきたい。



さて、今回の「よもやまばなし」は、レジ袋購入の有無ではなく、コンビニ店員さんとの「レジ袋に関わるやり取り」についての私見である。お気楽にどうぞ。

コンビニで品物を購入する際、「袋はどうされますか?」と、店員さんから声を掛けられる。その問いかけに対し、どう答えるか。レジの支払い待ちとなった時、客と店員のやり取りを俯瞰して見た際、袋が不要な場合の対応を少しばかり考えさせられた。

「袋はどうされますか?」

『いらん。』 これはまずい。見たことがない。

『いりません。』 これが普通だろうが、冷たさが残る。

『結構です。』 冷たさが増した感じ。がつんと断られたと受け取る。

そこで自分は、『大丈夫です。』と答えるようにした。

これなら、店員さんの問いかけに答えて、声を掛ける店員さんの思いにも応える形にはなっている。

もう一步踏み込めば、こちらから切り出せばよい。

『袋もお願いします。』『袋は大丈夫です。』 店員さんは『はい。』で済む。

大切な部分は、温かみのあるやり取りを心掛けること。意識すれば、その後の流れもよい方向に転じる。店員さんが「ありがとうございました。」と言うその前に、『ありがとう。』と言って、さらりとレジを抜けることもあたりまえにできる。

購入側の『大丈夫です。』『ありがとう。』は、格好いいのだ。※あくまでも私見である。

# レジ袋の有料化効果あった？

NHK「サクサク経済 Q&A より

Q :有料になって、レジ袋を使わなくなったという人が多いですね。

A:スーパーでは以前からマイバッグが定着していましたが、去年の7月から一斉に有料になったコンビニでは、レジ袋を使わない人が増えているようです。

それは、コンビニ各社がまとめた「レジ袋の辞退率」(買い物をした人のうち、レジ袋を購入しなかった人の割合)のデータからわかります。 →→→→→→→→→→→→→→→→



日本フランチャイズチェーン協会によると、有料化が義務づけられる前のコンビニの辞退率は 25 %程度。この1年で3倍程度に伸びたことがわかります。

す。

Q:それでは有料化の族としてプラスチックごみは減ったのでしょうか？

A:ごみ袋メーカーが消費者を対象に行ったアンケート調査では、もらったレジ袋は家でごみ袋にしたり、食料品の保存袋として使ったりと、再利用していると答えた人が9割以上にのぼりました。つまり、レジ袋はそのまま捨てられることは少なかったといえます。それが、今は有料化されて、レジ袋をもらう機会が減った反面、レジ袋と似たような形をした、取っ手付きのポリ袋の売り上げが有料化前の2倍以上になっているということです。レジ袋の有料化で、プラスチックごみが減ったと簡単に言い切るのは難しそうです。

Q :では、有料化に効果がなかったのでしょうか？

A:人々の意識を変えたという大きな意味があると思います。もともと、プラスチックごみ全体に占めるレジ袋の割合は数%程度と言われています。レジ袋有料化を義務づける際、その目的はマイバッグの持参など、プラスチックに頼っている消費者のライフスタイルの変革を促していくことだと位置づけられていました。この1年で、マイバッグを使っている人を街なかで目にする機会も増えました。

ところで、レジ袋はコンビニでは1枚3円から5円程度で販売されていますが、その売り上げがどう使われているか知っていますか？各社とも、レジ袋の収益は環境保護などの活動の資金にあてています。セブンイレブンは、去年7月からことし2月までで、本部に入ったレジ袋の収益は5.6億円にもなっており、ペットボトルのリサイクルを促すために店頭で回収ボックスを設置する費用にあてたり、環境保護を行うNPO団体に寄付したりしています。ファミリーマートは、レジ袋の収益をプラスチックの海洋ゴミを原材料にした買い物かごを作る開発費用にあてているということです。